

令和2年度 学校生活に関する約束事

～創造し 協調する たくましい生徒～

- 基本1 ルール・マナーは常に全体を考える。自分の都合に合わせない。
- 基本2 公と私の分別をつける。個人的なことは公の場に持ち込まない。
- 基本3 秩序を守る事で、秩序が自分を守ってくれる。

1 学校生活について

【時間を守る意識を高める】

- ◆ 遅刻ゼロを目指す。余裕をもって朝の取り組みが始められるよう、早めの登校を心がける。
- ◆ 見通しをもち、自主的に行動することを習慣化する。
- ◆ 1分前着席を徹底し、時間通りに授業を開始する。
- ◆ 授業前の教科系の活動を活発にする。
- ◆ 特別教室への移動は休み時間にする。

【身だしなみの意識】

- ◆ 学校生活に適した身だしなみを考え、整える。
- ◆ 標準服で授業を受ける。体育の授業や美術の授業等、体育着に着替える必要がある場合は、直前の休み時間に着替える。朝の会・全校朝会・生徒朝会・学年朝会等がある場合は、制服で参加する。体育着に着替えた後は、そのまま体育着でその後の授業を受けても良い。清掃のため、昼休み中に体育着に着替えておく。
※特別支援学級の生徒に関しては、登校後体育着に着替えてよい。
- ◆ スカートの丈は膝が隠れる長さ。ズボンの腰履きはしない。
- ◆ 髪の毛を脱色・染色しない。整髪料はつけない。
- ◆ 流行を追った髪型にしない。(どの年代やどんな立場の人が見ても中学生としてふさわしいと見られる髪型とする。)
- ◆ 髪の毛は、学習や運動に支障が出ないようにする。
- ◆ 髪の毛の長さが肩にかかる場合は、きちんと結ぶ。
- ◆ 髪の毛を縛るゴムの色は黒・紺・茶とする。
- ◆ 眉を細くしたり、爪を長くしたりしない。
- ◆ ワイシャツ・ブラウスの着用。女子は丸襟ブラウスでもよい。シャツ・ブラウスの裾だしに気をつける。白色の開襟シャツを認める。夏は、暑くなるので半袖の着用を勧める。
- ◆ シャツの下には必ず下着を着用する。プリントTシャツの着用は不可。
夏服時の下着は、ブラウス・ワイシャツや半袖体育着から透けにくい色のものとする。

- ◆ 部活動時に限り、部で認められたチームTシャツの着用は可。個人のプリントTシャツ不可。
- ◆ セーター類（黒・紺・茶・ベージュ・グレー）を制服の中に着てもかまわないが、華美なものでないこと。上着からはみ出ないように着ること。
- ◆ 防寒着の種類は指定していない。天候に応じて着用する。防寒着と手袋・マフラー等の併用を勧める。
- ◆ 名札は胸ポケットに四隅を縫い付ける。夏服にも縫い付ける。名札の左隅にクラス番号のシールを貼る。
- ◆ 制服時の靴下の色は白で（柄物は不可）、くるぶしが隠れる長さ。ワンポイント可。
- ◆ ストッキング・タイツ・レギンス等の色は、華美でないもの（黒・ベージュ）。
- ◆ 膝掛けは原則使用しないが、健康・体調面でどうしても必要な生徒は、学級担任に相談する。
- ◆ 男子のベルトは、黒・紺・茶の華美でないもの（編み込み・メタル・ツートンカラーなどは認めない）。
- ◆ 内履きは白系の運動靴とする。内外の区別のため青の靴ひもを使用。かかとの外側に学年・組・氏名（姓のみ）を記入。つぶし履きをしない。（例：2年3組湯田）
- ◆ 体育用外履きについて、内履きと区別して使用する。
- ◆ 通学靴は指定していない。華美ではなく、安全なもの。
- ◆ 通学カバンは、指定していない。
- ◆ コートやジャンパーは、指定していない。
- ◆ 必要なものを机の中に入れ、カバンは机の脇にかけず個人のロッカー内に置く。

二
 三
 湯田

【貴重品をもってきたとき】

- ◆ お金（教材や体育着等の購入）は、朝の会で学級担任に渡す。
- ◆ お金以外の貴重品は、朝の会で学級担任に預け、帰りの会で受け取る。
- ◆ 部活動時は、部活動顧問に預け、下校時に受け取る。

【忘れ物をしたとき】

- ◆ 忘れ物（授業で使う物・部活動で使う物・昼食など）をした場合、家に取りに帰ることを認めていない。家に電話をして届けてもらうか、学級担任・教科担任・部活動顧問などに忘れたことを伝え、できることをさせてもらう。

【物を落としたとき・拾ったとき】

- ◆ 自分の持ち物には、しっかりと記名をする。
- ◆ 落とし物は、印刷室前にある『落とし物 BOX』に保管される。『落とし物 BOX』を開けてもらいたい場合は、教務室にいる先生に声を掛ける。
- ◆ 落とし物を拾ったときには、近くにいる先生に預ける。

【公共物を大切に】

- ◆ 公共物を壊してしまった場合は、すぐに担任の先生に申し出る。
- ◆ 担任の先生から渡される『破損届』に必要事項を記入し、修理を依頼する。
- ◆ 故意に壊した場合などは、修繕にかかる費用を弁償してもらうことがある。

【話を聞く態度を身に付ける】

- ◆ 授業中や集会時の私語等はしない。
- ◆ 朝の会や帰りの会はきちんと顔を上げて人の話を聞く。帰り支度をしない。

【暴力・いじめをしない、させない学級の雰囲気づくり】

- ◆ 校内において絶対に暴力行為、いじめ行為は認めないという態度を身に付ける。
- ◆ 校内での手紙（メモ）回しはしない。
- ◆ みんなが楽しめる学校・互いに認め合える、笑顔いっぱいの学校になるよう、自分の言動に気を配る。

【勤労意欲を高める】

- ◆ 清掃活動の充実。ボランティア活動の推進。

【礼儀の意識】

- ◆ 挨拶の励行。心を通わせる意味でも、上級生・下級生、地域・来校者の方にさわやかに挨拶をする。
- ◆ 自分から挨拶することが望ましい。
- ◆ 言葉遣い、教務室の出入りの仕方等を身につける。

【不要物の扱い】

- ◆ 授業に関係ない物はすべて不要物である。（ゲーム・雑誌・漫画・携帯電話・携帯音楽機器・菓子等）持ってきた不要物については、家庭に連絡して保護者へ手渡しする。
- ◆ 日焼け止め・リップ（無色・無香料）・制汗剤（無香料）等は、マナーを守って使用する。

【傘の管理】

- ◆ 傘には記名したシールを貼り、玄関にあるパラソルボックスに入れる。置きっぱなしにしない。
- ◆ 無断借用（盗難）をしない。

【遅刻をした場合の報告】

- ◆ 朝の会以降に登校した生徒は必ず教務室へ報告に来る。担任または、学年の職員に登校の報告をし、教室へ行く。
- ◆ 授業の開始に遅れない。遅れる場合は、教科担任に理由を説明する。

【仲庭の利用】

- ◆ 天候や土の状態により、利用できないことがある。雨や雪が降っているときや地面が濡れているときは利用できない。体育館の扉にある掲示物（利用可：緑、利用不可：赤）で確認する。
- ◆ 仲庭は語らいの場・くつろぎの場である。石の上を歩いて、靴を汚さないように。
- ◆ 校舎内に入るときは、マットで土をよく落とすこと。

【休日に登校した場合】

- ◆ 部活動等で休日に登校したときは、職員玄関を使用する。

2 その他

【不審者、外出、インターネットトラブルなどの対策】

- ◆ 知らない人に誘われても、絶対に車に乗ったり、ついて行ったりしないこと。
- ◆ 一人だけの行動の時は十分注意する。身に危険を感じたら近くの人や家・店に助けを求め、すぐに110番通報する。その後学校に連絡する。
- ◆ 人通りが少ない地域に住んでいる生徒は、保護者に迎えに来てもらうなど、特に注意して外出対策をとる。
- ◆ 不審電話には、個人情報の漏洩防止の立場から「わかりません」「知りません」と電話を切る。
- ◆ 家庭でインターネットを使用する際は、保護者と約束事（使用する時間帯・場所、フィルタリング等）をきめて使用すること。
- ◆ トラブルに巻き込まれる恐れのあるホームページ・ブログ・ツイッターなどを立ちあげない。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）などを利用する際は、十分に気をつけること。SNSルールを意識して行動すること。
- ◆ ゲームセンター・カラオケボックス・インターネットカフェ（ショップやボウリング場に併設されている箇所も同じ扱い）等への生徒だけの出入りは禁止。
- ◆ 映画館・ボウリング場には、保護者の許可を得てから出かけること。ただし、夜間は保護者同伴以外、入場しない。
- ◆ 保護者の同伴無しで、夜間・早朝に外出をしない。

【学校で購入できるもの】

- ◆ 名札・体育着・室内シューズ・靴紐は、学校で申し込むことができる。
 - ◆ 申し込み用の封筒に現金を入れ、朝のうちに職員室内のポストに入れる。
 - ◇ 名札 2枚：710円 3枚：960円 4枚：1070円
 - ◇ 体育着 半袖シャツSS～3L：2,630円
ハーフパンツSS～3L：2,420円
トレシャツ（長袖）SS～2L：4,670円
トレパン（長ズボン）SS～2L：3,620円
- *上記サイズ以外は価格が異なります。ご相談ください。
- ◇ 室内シューズ 3,980円
 - ◇ 靴紐 100円（2本1組）
 - ◇ 体育着刺繍（ネーム）の変更は、お金を古封筒に入れ、体育着（刺繍外しは、各自で）を学級担任に渡す。
 - トレシャツ（長袖）：578円
 - トレパン（長ズボン）：472円
 - 半袖シャツ・ハーフパンツ：460円
- *すべて、令和2年2月3日現在の価格。
- ◆ 制服のリボン・ボタンについては、制服購入店にて各自で購入する。
 - ◆ 名札シールが無くなった場合は、学級担任に申し出る。

3 いじめ防止推進法の施行に伴って

小針中でもこの法に則り、『いじめは絶対あってはいけないこと』として取り組んでいきます。何かありましたら、すぐに担任等、誰にでも相談してください。

特に、新潟県で起きた悲しいいじめ事件を教訓に『ズボン下ろし』は、遊びであっても厳格に対処していきます。いじめの状況によっては警察への告発も辞さない厳しい対応をしていきます。